



2014年5月15日

報道関係各位

がん征圧ポスターデザインコンテスト 入賞作品決まる

東北芸術工科大学・辻さんが最優秀賞

日本対がん協会が、学生を対象に公募した「がん征圧ポスターデザインコンテスト」の入賞作品（最優秀賞1点、優秀賞3点）が決定しました。本コンテストは、若い世代にがんについて知ってもらい、若者の発想でがん検診の受診を呼びかけてもらうのを目的に企画しています。2回目の今年、最優秀賞は東北芸術工科大学の辻敦洋さんの作品が選ばれました。9月5日に福岡市で開催する「がん征圧全国大会」で表彰します。

審査は、本田亮氏（クリエイティブディレクター。テレビCM「ピッカピカの1年生」（小学館）や「こだまでしょうか？」（AC）の企画制作など）、廣村正彰氏（グラフィックデザイナー。代表作はすみだ水族館 VI、サイン計画や有楽町ロフトの総合アートディレクションなど）、東大病院放射線科准教授の中川恵一氏らによって行われました。

辻さんの作品は、がんが広がる様をオセロにたとえ、がんの怖さを端的に示している点が評価されました。

辻さんの作品はポスターにして、がん征圧月間の9月、全国の自治体、保健所、病院などで掲示される予定です。部数は約5万部です。

第2回がん征圧ポスターデザインコンテスト 入賞者一覧

敬称略、プロフィールは応募時点

賞	氏名	大学名	学年	性別	住所
最優秀賞	辻 敦洋	東北芸術工科大学	3	男	山形県
優秀賞	大熊 仁	武蔵野美術大学	1	男	埼玉県
優秀賞	川村 美貴	名古屋造形大学	1	女	三重県
優秀賞	富永 汐里	日本大学	2	女	神奈川県

※作品は次頁に紹介しています。

画像データの希望、お問い合わせ先

日本対がん協会 03-5218-4771（代表） 広報 本橋・臼井

第2回がん征圧ポスターデザインコンテスト 入賞作品

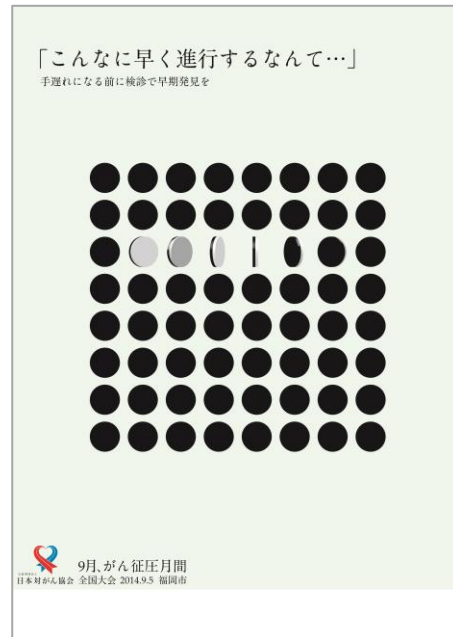
最優秀賞 (1点)

※ポスターとして約 52,000 部が全国の自治体、保健所、病院などで掲示されます



辻 敦洋 さん 東北芸術工科大学

「がんはあまり身近でないので難しいテーマだったが、この制作に取り組むことで自身の視野が広がると思い挑戦した。目を引くようにシンプルなデザインを追求。このポスターを見て、多くの人にがんに関心を持って検診に行ってもらいたい」



優秀賞 (3点)



おおくま ひとし
大熊 仁 さん
武蔵野美術大学



かわむら みき
川村 美貴 さん
名古屋造形大学



とみなが しおり
富永 汐里 さん
日本大学

《がん征圧ポスターデザインコンテストとは》

日本対がん協会は、9月の「がん征圧月間」に合わせて、例年、がん検診の受診を呼びかけるポスターを制作してきました。2013年度から、若い世代の視点をいかしたデザインを期待するとともに、制作を通してがんを知る機会を広げるため、学生を対象にコンテストを開始しました。

公式ホームページ <http://www.jcsposter.com/>

以上